

# ふるさととは今



## 高野寺の梵鐘伝説

井尻の高野寺は、真言宗の古いお寺です。このお寺は今から1150年前、弘法大師がお建てになりました。ここにつくり方や紋様などからみて、朝鮮から伝わって来たのではないかと思われる大きな梵鐘があります。

今から400年ぐらい前（戦国時代）、この地方は尼子と毛利がはげしい戦いをくりかえしていましたが、ある夜のこと、このお寺へ一人の男が大きな荷物を背負って登って来ました。お坊さんが出てみると、晴れた夜なのにその男は全身、水にぬれているのです。

「私は、<sup>たにしゅうごう</sup>谷住郷の七日<sup>\*</sup>淵にすむエンコウです。仏さまのお使いで、この梵鐘を持って参りました。何もいりません。水を下さい。」と言いました。

お坊さんが水を持ってくると、どうでしょう、その男は、頭から水をかぶって、「これで元気が出ました。梵鐘は、門のところにおきましたよ。」と言うと、姿をけしてしまいました。

つぎの日、梵鐘は6人の力の強い男で、やっと持ちあげることができました。

※谷住郷…現在の江津市桜江町 ※エンコウ…河童 【昭和45年 温泉津町教育委員会発行「温泉津町の伝説」より引用】  
この梵鐘は県指定文化財です。

## 高野寺のつつじ

「西の高野山」ともいわれる高野寺は、温泉津町井田の小高い山の中にあります。境内にはツツジが3,000本近く植えられていて、例年4月下旬から白、紫、赤やピンクなどさまざまな色のツツジが咲き始めます。毎年5月5日に「つつじ祭り」が行われます。温泉津駅から車で15分。



県指定文化財の銅鐘

## 表紙 志学小学校



志学小学校は、昭和29年の市町村合併により、現在の大田市立志学小学校として現在地に校舎が建てられました。表紙の写真にある記念碑「四恩のいずみ」は昭和51年に開校100年を記念し建立されました。

現在の校舎は平成6年に竣工し、明るく開放的な校舎で、31名の児童が、のびのびと学校生活を送っています。校区は、大田市の南端で、飯南町と美郷町に接し、三瓶山の東南麓に位置し温泉と広大な牧野のある自然豊かな地域です。

子どもたちは、町探検で泉源を訪ねたり、公民館や明生会（高齢者グループ）との交流をして地域のあたたかさを感じ取っています。

また、冬には三瓶山でのスキー教室を行うなど、四季を通して豊かな自然の中で学んでいます。



発行 / 大田市役所総務部地域政策課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@iwamigin.jp <http://www.iwamigin.jp/ohda/>  
定住サイト「おおだの未来検索サイト どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>